

## 東紀州サテライト

東紀州サテライトは、三重大学が天満荘を拠点に、地域と共に学び・調べ・活動する場です。建物や庭を活かした実習、調査、交流を通して、地域の魅力を次世代へつなぐ取り組みを行っています。本パンフレットは、木質資源工学を学ぶ学生が、天満荘を実際に測り、模型として再現した成果をまとめたものです。



最新情報・見学案内はこちら  
(展示・活動情報／三重大学公式)

## 活動拠点



本パンフレットおよび模型は、木質資源工学を学ぶ学生が制作しました。

三重大学 生物資源学部 木質資源工学研究室



# 築100年の天満荘を 見て・知って・味わう ～ 学生の実測と模型でたどる建物と庭 ～

令和七年(2025年)  
三重大学 東紀州サテライト  
(制作:三重大学 生物資源学部 木質資源工学研究室)

## 天満荘と三重大学



○2000年  
「NPO法人 天満荘保存会」  
設立



○2017年  
三重大学 東紀州サテライト  
設置



○2020年  
「第10回 地域再生大賞」  
優秀賞 受賞



○2025年  
築100年記念  
展示・取り組みを実施





# 天満荘について

鳥瞰図では、ジオラマ模型で制作した庭や母屋を写真で紹介し、建物の構造や敷地、庭に関するデータをあわせて掲載しています。また、平面図では、部屋の配置や広さなど、天満荘の空間構成を図で分かりやすく示しています。

鳥瞰図



竣工 : 1925年(大正14年)  
構造 : 木造平屋建 寄棟造  
延床面積 : 205.3 m<sup>2</sup>  
柱 : 155 本  
梁 : 56 本  
桁 : 26 本

海拔 : 30 m  
敷地面積 : 2849.8 m<sup>2</sup>  
庭木 : 178本(17樹種)

平面図



玄関(外)



玄関(内)



和室(天満)



食堂・喫茶室



庭(正面)



図面



屋外



小屋裏



床下



室内

2025年6月、軸組模型とジオラマ模型の制作に向けて、天満荘で3日間の現地調査を行いました。軸組班は屋根裏や床下、室内を調べ、建物を支える構造材の一つひとつ計測しました。一方、ジオラマ班は庭に入り、地形や樹木の配置、特徴を丁寧に調査しました。ここで得られた記録をもとに、模型を制作しています。

## 現地測量



こけら寿司



睡眠



食事



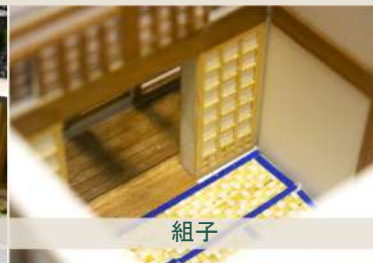
団らん

# ジオラマ模型

ジオラマ模型は、天満荘全体を1/45の縮尺で制作しています。建物は、ふすまの組子や瓦一枚一枚まで細部にこだわりました。また、庭木についても、樹種ごとの違いが分かるよう特徴を捉えて表現しています。ぜひ、実際の天満荘と見比べながらお楽しみください。



玄関



組子



箆箆と押入



ジオラマ模型



タイサンボク



クスノキ

## ミニ樹木紹介

タイサンボク (*Magnolia grandiflora*)



花と葉

北米南部原産の樹木で、観賞用として親しまれています。大きく美しい花と、ほのかな香りが魅力で、品種も豊富です。

クスノキ (*Cinnamomum camphora*)



花と葉

材は樟脳の原料にもなり、香り高い樹木です。木目に「玉杓」と呼ばれる模様が現れることがあり、その際は高級材として家具などに用いられます。



庭木の詳細はこちら



軸組模型

## 軸組模型

軸組模型は、天満荘の木造構造を1/25の縮尺で再現しています。特にこだわったのは、小屋裏にある梁や桁の部分です。湾曲した小屋梁や飛び梁は、バルサ材を削りながら丁寧に表現しました。部屋の空間だけでなく、普段は見ることのできない床下や小屋裏まで忠実に再現しています。また、屋根を支える垂木は、玄関や風呂場を中心に細部まで作り込んでいます。ぜひ、細かなつくりにもご注目ください。



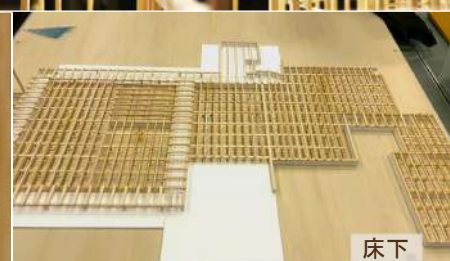
玄関



小屋裏



室内



床下